

基本事項

- リニアクランプ・ズィーにはガイド機能はありません。リニアクランプ・ズィーとレール・シャフトとのクリアランスを保つために、キャリッジ・リニア軸受などと組み合わせてご使用ください。
- 適用レールの基準寸法が表面処理等によって変化する場合、適切にご使用いただけません可能性があります。
- カタログ記載の保持力を得るために、クランプ時にリニアクランプ・ズィー本体の変形を抑える必要があります。本体の変形を抑えるために、本体の取り付け用のねじ穴の開いている面(下図赤枠部)の全面が、十分な剛性を持つテーブル・ベースなどと接するように設計してください。



- 複数のレールを使用する場合は、偏荷重を避けるため、すべてのレールにリニアクランプ・ズィーを取り付けることを推奨します。
- ブレーキ機構つきタイプ **MBPS** **UBPS** **RBPS** は、開放状態でも、ブレーキパッドとレール・シャフトが接触する場合があります。
- ブレーキ機構つきタイプの停止距離の計算方法については、「リニアクランプ・ズィーの停止距離の計算(ブレーキタイプ)」をご参照ください。

形状

リニアクランプ・ズィーの形状には、レール・シャフトのラジアル方向(上)から取りつけできる形状と、取りつけできない形状があります。形状についてはCADデータにてご確認ください。



上から取りつけできる形状

上から取りつけできない形状
(軸方向から取りつける)

空気圧タイプ

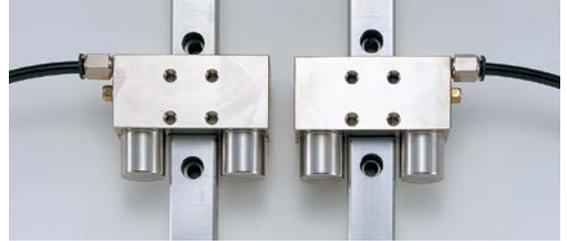
- ISO 8573 - 1 に定められた個体粒子の等級4以上の空気を供給してください。
- 管継手は以下のおねじサイズをご使用ください。

エアコネクション	管継手
M3	M3
M5	M5
G1/8	G1/8

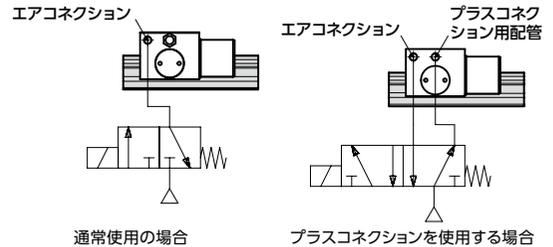
- チューブの外径は下表のサイズを推奨します。チューブ外径が小さいほどリアクションタイムが長くなります。

レールの呼び	チューブの外径
#20以下	φ4mm以上
#20を超える	φ6mm以上

- 配管の長さは可能な限り短くしてください。配管長さが長いほどリアクションタイムが長くなります。
- エアコネクション(空気圧の供給)は左右のつけ替えが可能です。(**MCP** **MCP5** は除く) 使用条件に合わせて位置を変更してください。



- 通常使用の場合は、3ポート以上の切換え弁を使用してください。プラスコネクションを使用する場合は5ポートの切換え弁を使用してください。エアフィルタを取りはずし、そこへプラスコネクション用の配管をつなぎます。



通常使用の場合

プラスコネクションを使用する場合

- ⚠ **プラスコネクション**とは、ばねによる保持力に、空気圧による保持力を付加し、保持力を増強させる接続方法です。そのため、プラスコネクション用の配管をつないでいる場合でも、空気圧供給が止まると、通常使用の場合と同じ程度のみの保持力となります。

油圧タイプ

- ISO VG 46 の鉱物系作動油を使用してください。粘度の低い油を使用した場合、油漏れが発生する可能性があります。
- 管継手は以下のおねじサイズをご使用ください。

オイルコネクション	管継手
G1/8	G1/8
G1/4	G1/4

- 油圧の供給は左右いずれからも可能です。
- 出荷時は作動油(HLP46)が封入されています。異なった油を使用する場合は、油の置換を行ってください。
- **KWH** **KBH** を使用する場合は、テーブルにリニアクランプ・ズィーの位置決めのための突きあて面を設けると、取り付けが容易になります。

